

# 『HUMAN RIGHTS』の活用にあたって

本書は、様々な角度から、私たちの「人権」について考えてみようというものです。学習は、個人でも、グループやクラス単位でもできるでしょう。また、様々な教科の授業にも活用できるようにしてあります。先生と相談しながら、それぞれ自分にあった方法で、工夫しながら学習をすすめてみましょう。

本書は、全部で18のテーマから構成していますが、個別的な人権課題と密接にかかわるテーマもあれば、様々な人権課題を総合的・横断的にとらえようとするテーマもあります。また、それぞれのテーマに即した資料を用意していますが、自ら課題を見つけ、研究や活動をすすめるには、けっして十分ではありません。自分の興味や関心、問題意識に応じて課題を設定し、自分自身で必要な資料や情報を探し出すことも大切な学習です。

学習をすすめるに際しては、人権課題は必ず解決できるという確かな展望をもち、自分とのかかわりで考え、主体的に取り組もうとする意欲や態度が大切です。

## 1 本書の構成について

今日的な視点からテーマに関する現状と課題を示し、学習をすすめるうえでヒントとなるよう、問題提起をしています。そして、提起された問題（ねらい）にアプローチする手がかりとして、「研究課題」「活動課題」「ケーススタディ」を設定しています。さらに、学習の参考となるよう、その他の資料を掲載しています。学習をすすめるに際しては、これらの資料を効果的に活用し、多角的にアプローチすることが望まれます。

## 2 資料について

### (1) 研究課題・活動課題

「研究課題」は、主に教室で行う調べ学習やグループ活動、「活動課題」は、主に校外で行うフィールドワーク的な学習活動となっています。

### (2) ケーススタディ

具体的な場面設定による問いかけなどにより、テーマを自分とのかかわりで考えていく学習内容となっています。

### (3) キーワード解説

学習をすすめるうえで、テーマに関連する基礎知識や用語などを簡単に解説しています。

### (4) 関連機関等

発展的な学習に向けて、資料や情報などを収集したり、実際に問い合わせたりすることができる施設や機関を紹介しています。

### (5) その他の資料

テーマに関する現状を認識するための統計資料や自分をふり振り返り、気づきを促すためのチェック・シートなどの関連資料を掲載しています。